

経営学、総合工学、健康・生活科学委員会合同

「価値共創社会に資するサービス研究体系検討のための分科会」

(第 26 期・第 1 回)

議事録

1. 日 時 令和 6 年 3 月 21 日 (木) 19:00～20:15
2. 会 場 オンライン
3. 出席者 伊藤泰信、大倉典子、椿広計、椿美智子、戸谷圭子、西尾チヅル、原良憲、
平田貞代、美濃導彦、持丸正明、山口景子 (五十音順、敬称略)
- 欠席者 西村訓弘、西村ユミ (五十音順、敬称略)
4. 議事概要
 - 1) 分科会役員の選出
審議の結果、委員長：戸谷圭子、副委員長：持丸正明、幹事：山口景子が選出された。
 - 2) 第 25 期までのサービス学分科会の活動について
戸谷委員長より、過去 3 期 (第 23 期、第 24 期、第 25 期) における本分科会の設置目的、取り組んだ課題、および意見表出の内容と意図が説明された。(資料 2_1、資料 2_2、資料 2_3、資料 2_4)
 - 3) 今期(第 26 期)の分科会設置目的について
戸谷委員長より、資料 3 に基づき、今期の分科会設置目的が説明された。
 - 4) 今期、重点的に取り組むべき課題についての意見交換
資料 4 に基づき、単独の学協会ではなく日本学術会議の分科会だからできることはなにかという観点から、重点的に取り組むべき課題および課題への取り組み方について意見交換を行った。複合領域での活動を進める上で、今後検討することが望ましい領域 (法学、社会学、医学など) が挙げられた。
 - 5) その他
分科会開催の日程調整等のために、各委員のメールアドレスを共有することを審議した。その結果、出席者からは共有の合意が得られた。また、議事内容の効率的な共有について意見があった。

5. 配布資料

資料 1 : 価値共創社会のサービス研究体系検討委員名簿

(2024 年 3 月 21 日現在)

資料 2_1 : サービス学参照基準

資料 2_2 : サービス学参照基準の概要

資料 2_3 : 提言「サステナブルで個人が主体的に活躍できる社会を構築するサービス学」

資料 2_4 : 書籍準備状況

資料 3 : 第 26 期価値共創社会に資するサービス研究体系検討のための分科会
分科会設置目的

以上